



福岡における
「かっこいいクルマの使い方」を
考えるプログラム

クルマと 環境のはなし



国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所

環境問題に
「クルマ」がどれだけ
関係しているのでしょうか？

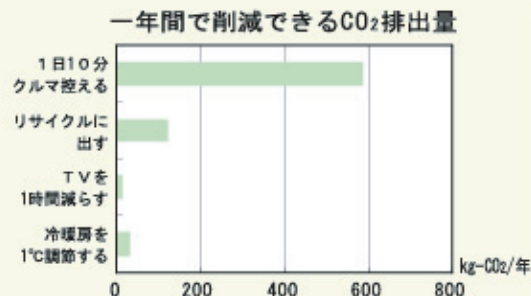


「環境に優しい生活」とクルマ利用

「環境に優しく」するためには何が必要だと思いますか？

電気をこまめに消す、ゴミをリサイクルに出す…等、いくつか考えられます。

でも、下のグラフでわかるとおり「クルマを少し控える」ことが格段に「環境に優しい」ようです。



クルマを控えたりリサイクルに出したりすることを一年間続けた時にCO₂がどれだけ削減できるかを計算したグラフです。クルマを毎日10分ずつ控えることが、リサイクルの約5倍、冷暖房・テレビ等の工夫の約20倍～50倍も「環境に優しい」ことが分かります。

(出典 東京工業大学大学院・土木工学専攻)

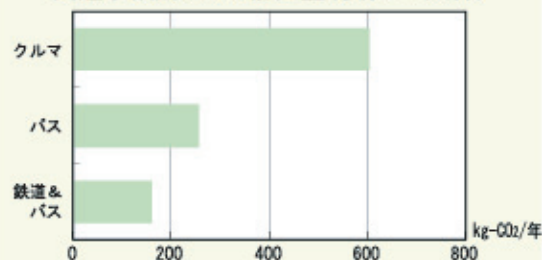
「クルマ」から「バス」へ

「バス」や「鉄道」は一度にたくさんの方が利用します。

ですから、バスや鉄道を利用すればCO₂をあまり出さずに、移動できます。



交通手段別のCO₂排出量(長住 → 天神)



長住→天神の往復約10kmを

- ・自動車
- ・バス
- ・バス+電車

で移動した場合のCO₂の排出量です。

クルマを使わなければCO₂の排出量は半分～1/3程度になります。

(参考資料：交通関係エネルギー要覧(平成12年版))

ひとり一人が環境のためにできること

たとえば、福岡市民のわずか「1%」が「クルマ利用」をほんの少し控えるだけで「福岡ドーム65個分の面積」に植林するのと同じ効果がえられます。

環境問題は「1人」では解決できません。でも、ひとりひとりの小さな努力が大きな問題の解決につながるのです。

例えば、長住→天神の往復約10kmをクルマからバスに乗り換えると、年間で一人あたり、約347kgのCO₂が削減されます。福岡市民の1% (約1.4万人) がこれと同程度のことを行うとしたら4,822tのCO₂削減となります。これを、森林のCO₂吸収量10.6 (t-CO₂/ha・年) に換算すると、約455ha、これは福岡ドーム(7ha) 65個分の森林によるCO₂吸収量に相当します。

(参考資料：土地利用 土地利用変化及び林業に関する、グッドプラクティス・ガイダンス、気候変動に関する政府間パネル(IPCC))